

帯財政第211号
平成23年10月18日

部 長

各事務局長

市 長

平成24年度予算編成方針

帯広市は、来年、開拓130年、市制施行80年の節目を迎える。本市の発展は、先人のたゆまぬ労苦と英知により築かれたものであり、改めて、今日まで積上げられてきた歴史に学び、未来に向けて活力あるまちづくりにつなげる一歩を踏み出さなければならない。

一方、本年3月11日に発生した東日本大震災により、多くの尊い人命が奪われ、人と人との絆の大切さが認識されたほか、防災やエネルギー対策などについて、意識の変化や新しい価値観への対応が求められてきている。

こうしたなか、十勝・帯広の経済は、震災の影響から一部持ち直しの動きも見られるが、好転までには至らず、本市の財政状況においても、市税や地方交付税など歳入の減収などにより、厳しい予算編成となることが予想される。

本市の発展のためには、芽吹きが感じられる「フードバレーとかち」の取組を大きく育てていくことが、地域資源を活かした産業の発展、安全安心な暮らしの実現にもつながっていくものと考えます。

平成24年度予算編成にあたっては、本格実施初年度である政策・施策評価結果を通じ明らかとなった課題を認識し、効果的効率的な予算となるよう留意するとともに、スクラップ&ビルドの徹底により、真に必要な事業を見極めるものとする。

また、部長をはじめ全職員は、PDCAサイクルを基本とする予算編成の考えや本市の財政状況について認識し、第六期総合計画の着実な推進、公約の実現、成果指標・市民実感度向上に向けた取り組みのほか、予算編成における重点を十分に意識したうえで、市政の諸課題の解決に向け対応されるよう示達する。

記

1. 予算編成における重点

- (1) 元気で活力のある地域経済をつくる〔経済〕
- (2) 未来(あす)を担い輝くひとをそだてる〔ひと〕
- (3) 安全安心で人にやさしい暮らしをまもる〔安全安心〕